

# 小学校の段階から キャリア教育を



愛知教育大学附属岡崎小学校長

神谷 孝男 氏

教育随想



平成16年9月1日

## 9月号

発行・編集  
岡崎市教育委員会

### 今月の紙面

教育随想	1
愛知教育大学附属岡崎小学校長 神谷 孝男氏	
この人に聞く	2
光ヶ丘女子高等学校 ダンス部顧問 団野美由紀氏	
羅針盤	2
野外活動指導員 太田 一弘	
ふれあい	3
福岡中 山内 貴弘	
特集	4
楽しい！おいしい！学校給食 ～学校給食に求められるもの～	
お知らせ	6
フォト・ヒストリー	8
夢のパラダイス（昭和40年）	
この本を	8

我が国の労働力の状態、就業や雇用の形態などが激変する中、若者の働く意欲や態度、新規学卒者の進路選択や就職後の適応をめぐる問題が以前にも増して深刻化している。そして、昨今、学校教育と職業生活の接続の改善を図るためのキャリア教育の推進が望まれている。

キャリア教育とは、「望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育」（一九九九年 中央教育審議会）であり、青少年一人一人の健全なキャリア発達の助長・促進を図るための教育である。このようなキャリア教育を、小学校の段階から、計画的に実施することが求められている。そこで、小学校においては、「中学校との連携」を図りながら、学校

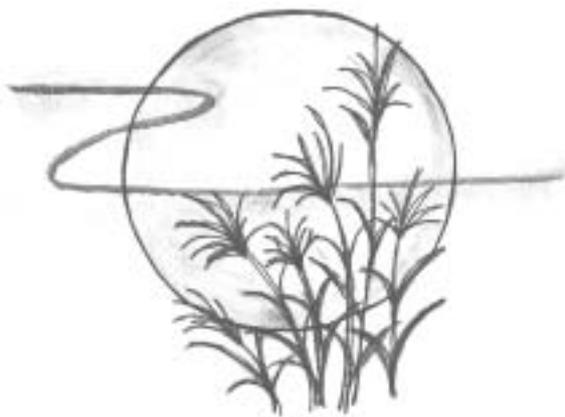
の教育活動全体を通じて、児童（生徒）一人一人が、将来のよき社会人・職業人として、それぞれの人生をよりよく生きるために必要な資質や能力を養い、職業の意義や勤労の尊さを理解して、望ましい職業観・勤労観の育成を図ることが望まれる。また、道徳や特別活動、総合的な学習の時間などで「自己の生き方」を考えさせたり、地域の産業や各種の職業（仕事）に関する基礎的な知識や技能を身に付けさせたりしたい。

さらに、学校の内外でのさまざまな経験や体験を通じて、自己の個性についての理解（自分のすぐれた能力や得意なこと、性格的なよさ、長所など）についての理解を深めさせることも大切である。

こうした自己の個性の理解や社会に必要な職業についての基礎的な知識をもとに、児童（生徒）一人一人

が、「自分は大きくなったら、こういった人間になって、こんなことをしたい。こんな職業に就いて、こういう生活や人生を送りたい」といった、将来の夢や希望が持てるように支援することが大切である。

（かみや たかお）



# この人に聞く

ふるさとシリーズ



## 夢は全国制覇

光ヶ丘女子高等学校ダンス部顧問

団野美由紀 氏

「卒業した部員たちが、さまざまな分野で活躍していることが何よりの喜びです。」

そう笑顔で語るのは光ヶ丘女子高等学校ダンス部顧問の団野先生。昨年度の全日本高校大学ダンスフェスティバル三位をはじめ、毎年全国大会ですばらしい結果を収めている。

団野さんは、小中学校ではバスケットボール、高校ではハンドボールに熱中するスポーツ少女であった。中学校時代の恩師にあこがれ体育教



師を目指すのだが、高校時代にひざを故障してしまい、周りから体育大進学を強く反対された。

「わたしとダンスとの出会いは大入ってからです。周囲の反対を押し切って入学した中京女子大で、たまたまダンス部の先輩たちが踊りを見せてくださった時、体に稲妻が走りまりました。」

厳しい練習に耐えながら熱心に活動するうち、さらにダンスの魅力にとりつかれ、ダンサーを目指すまでになった。

「ダンスの魅力は踊る喜びと、全員が一つになる喜びですね。仲間が

宝であることを理屈ではなく、体で感じられる。いちばん前で踊っている、後ろの人たちとの踊りがそろっているかどうかは、不思議と体で感じられるものなのです。」

そんな団野さんに、教えることのすばらしさを教えてくれたのは、教育実習先の城北中学校で出会った生徒たちの純粋な瞳だった。

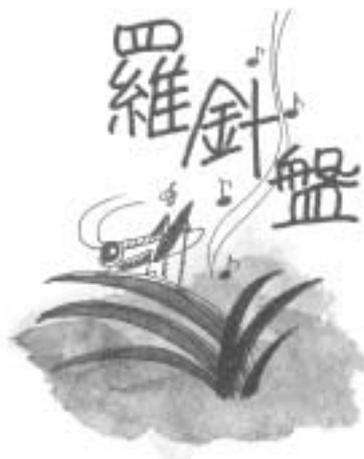
「実習先の生徒たちの前で、ほんの少し踊って見せたら、『先生すごい。わたしにも教えて。』と瞳を輝かせながら生徒たちが寄ってきたんです。その時、『こんな子たちにダンスを教えることができたら幸せだろうな』と強く思いました。」

実際、この時のクラスの一人が、団野先生のダンス部で指導を受け、現在は世界に羽ばたく名選手になっている。

光ヶ丘女子高等学校のダンス部顧問となって今年で十八年目。

「夢は全国制覇です。」  
 と言いつける先生の瞳は、ダンスを教えることの喜びと自信に満ちあふれていた。

氏名 だんのみゆき  
 生年月日 昭和三十八年四月二十三日  
 住 所 日名中町十五番地三十



## 少年自然の家の使命

野外活動指導員 太田 一弘

ある雑誌に小学五年、中学一・二年の子供とその保護者に対して行った「土・日の過ごし方」に関するアンケート調査結果が掲載されていた。

「土・日を有意義に過ごしている」と答えた小中学生は過半数を超えていた。しかし、「子供が土・日を有意義に過ごしている」と感じている保護者は三割にも満たない結果であった。また、子供たちだけで、この二日間を過ごす家庭もあった。

子供たちにゆとりをもたらず学校週五日制が始まって、早いもので二年がたった。以前から子供たちの土・日の過ごし方や地域社会での受け入れ態勢などについての不安がささやかれている。それだけに子供た



## 福中生と あじさいタイム

福岡中 山内 貴弘

本校の総合的な学習の時間「あじさいタイム」で福祉に目を向けた三年生の生徒たちは、修学旅行でそれぞれに都内の福祉関連施設を訪れた。そこで、福祉の最前線を目の当たりにし、体験学習を行うことにより、自分なりに何か行動をおこしてみようという気持ちが高まってきた。そんな思いを集めた学年集会で、次のようなA子とB男のやり取りがあった。「わたしは、難民支援をしているNGOへの募金活動を始めようと思っています。」

「募金するにしても、その人の心が大きく変化するわけではない。だから、もっと中学生らしい支援をするべきだと思う。」

A子は、自己表現がやや苦手で、周囲に理解されないことがあるが、

やる気と行動力にあふれている。学年集会で彼女は募金という行動を自信を持って呼びかけた。しかし、共感どころか、鋭い指摘をB男から浴びせられたのだった。

B男は、普段は自分の考えを主張することはないが、人とかかわり合いが素直にでき、周囲からも理解されていて人気もある。

そんなB男の指摘を、A子ははじめ受け止められずにいた。「いいことをしているのに、なぜ批判されるのか」そんな疑問と苛立ちがA子の中にあった。

わたしは、以前授業で使った「骨髄バンク」設立に奔走した人々のドキュメンタリー番組を、改めて視聴させることにした。さらに、エンカウンターによって気付いた自分の長所を再認識できるように働きかけた。しばらくして、A子は自ら「行動力を生かす」という個人テーマを導き出したのだった。

A子は地道に募金活動の協力を呼びかけるとともに、夏休みには商業施設で募金活動をする高校生に取材し、段取りを具体的に整えていった。いつのまにか彼女の周りには、九人の仲間が集まった。

中学校の総合的な学習では、時と

してストレートに「人となり」がぶつかり合う場面がある。そこで、生徒はお互いの見方・考え方を意識しながら自分の活動の価値を認識するのである。そして、その課題をくぐり抜けた生徒たちは、教師の予想を超えた大きなエネルギーを発揮することがある。

半年がたち、寒い年末の街頭で懸命に募金を呼びかけているA子たちのもとへわざわざ駆けつけ、支援になればとわずかな小遣いを入れたB男の姿があった。A子の学びは、B男の心にも共鳴していったのである。

わたしたちは、中学校での総合的な学習の中で、このような自らの生き方を高める行動と共感しあえる本質的な学びを引き出したと考える。生徒の「今」を見つめている。



ちを地域や社会で見守っていく必要性を感じる。

最近、地域でさまざまなスポーツ教室や文化教室、親子で参加するイベントなどの開催が増す状況にあるのもよい傾向といえる。学校とは違う集団の中で過ごすことで、子供たちの幅広い成長も見られることだろう。こうした中、少年自然の家の使命の見直しも進む。より開かれた少年自然の家を目指し、意欲的な取組がなされている。

昨年度は、市内六十の小中学校の利用のほかに、土・日に主催事業を十二回実施した。本年度は、新たに五事業（ニート彗星を観よう・親子でカヌー・虫の音を聞く夕べ・親子そば打ち道場・簡単ウッドクラフト）を新設した。また、異年齢の他校の児童・生徒が年間を通して交流する「すぶちネーチャークラブ」は、市内の小中学生三十五名が会員となり活動している。

少年期にあつては、バーチャル体験よりも直接体験を重視したい。そのためにも、豊かな自然の中にある少年自然の家を多くの市民に利用してほしいと思う。親子で参加し、共通体験を通じた健全な子育て支援の場を今後も提供していきたい。

# 楽しい！おいしい！学校給食

## ～学校給食に求められるもの～

▲スクラム給食（山中小）

過食・飽食の時代を迎え、食生活の乱れが叫ばれている。望ましい食習慣の形成が課題となっている現代、学校給食が果たす役割は大きい。

岡崎市では、楽しみながら正しい食文化を学ぶ実践がいろいろと工夫されている。学校給食への親しみをもたせようと、児童・生徒にリクエストランチを募集、実践しているのもその一環である。また、市内十一人の栄養士による給食栄養指導や、各学校の委員会活動として行われる給食クイズなどを通し、栄養バランスの取れた食事やマナーについての学習も継続、実践されている。

さらに開かれた学校の一環として、保護者対象に給食試食会を開いたり、祖父母を招いて給食の会食会を実施したりする学校もある。家庭との連携が大切であることは言うまでもない。

岡崎市学校給食センターが行った「食事について」のアンケートによれば、市内のおよそ八割の児童・生徒は、給食が好きと答えている。また、偏食や食物アレルギー等、多種多様な問題も浮き彫りにされている。「食育」についても、これまで以上に、児童・生徒への個別的な対応が求められ、きめ細やかな指導が必要となっている。

児童・生徒の「生きる力」にもつながる「食育」の充実を、これからも目指していきたい。

## の取組



▲ オープンエアランチ（新香山中）



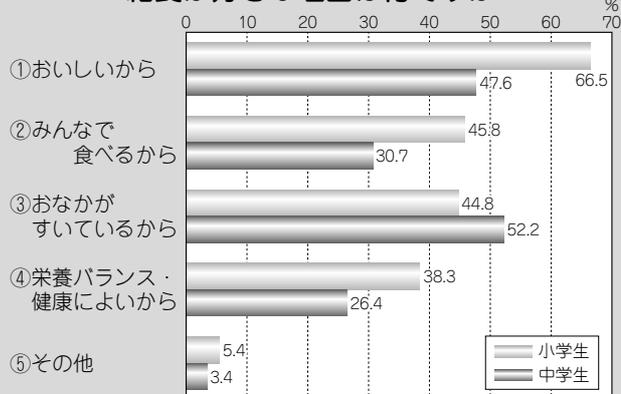
▲ 給食試食会（羽根小）

# 給食センターの取組



▲ 栄養士さんによる給食栄養指導（連尺小）

給食が好きな理由は何ですか



（市内全校調査）

平成16年度リクエストランチ献立表

月	学校名	献立名
4	奥殿小	五目ラーメン、揚げぎょうざ、中華サラダ、いちごクレープ
	竜谷小	いかのカレーシチュー、ポークコロッケ、ひじきサラダ、雪見大福
5	常南小	カレーシチュー、ハムとチーズの挟み揚げ、フルーツミックス
	根石小	肉じゃが、鶏肉の唐揚げ、キャベツのゆかりあえ、冷凍みかん
6	南中	五目ラーメン、焼きぎょうざ、枝豆、ココアババロア
	細川小	豚汁、えびフライ、野菜サラダ、冷凍みかん
7	広幡小	味噌汁、ハムとチーズの挟み揚げ、ひじきサラダ、グレープフルーツゼリー
9	甲山中	焼きそば、ツナチーズオムレツ、冷凍みかん
	岡崎小	カレーシチュー、ハムとチーズの挟み揚げ、きゅうり漬、コーヒー牛乳の素
10	梅園小	五目ラーメン、揚げぎょうざ、バンバンジーサラダ、いちごクレープ
	愛宕小	肉じゃが、照り焼きチキン、キャベツのゆかりあえ、雪見大福
11	福岡中	カレーシチュー、鶏肉の唐揚げ、野菜サラダ、アセロラゼリー
	矢東小	味噌汁、さんまの蒲焼き、ちらしずしの素、プリン
12	羽根小	焼きそば、フライドチキン、ほうれん草のマヨネーズあえ、チョコケーキ
	井田小	ビーフシチュー、照り焼きチキン、フレンチサラダ、コーヒー牛乳の素
1	北野小	コーンスープ、ハムとチーズの挟み揚げ、フルーツのヨーグルトあえ
	男川小	カレーシチュー、卵入りハンバーグ、福神漬、いちごクレープ
2	城北中	チャンポンめん、焼きぎょうざ、チーズタルト、キムチ（中学校のみ）
	葵中	肉じゃが、鶏肉の唐揚げ、桃（缶）
3	藤川小	コーンスープ、カルちゃんコロッケ、フルーツミックス、コーヒー牛乳の素



▲ 1年生給食参観（六ッ美中部小）



▲ 祖父母を招いての会食会（城北中）

学校で



● 学校ホームページ

岡崎市は各小中学校を結んだ教育ネットワークを、平成十二年に構築した。各小中学校のホームページは、教育ネットワークを通して教育研究所内にあるリサーチセンターから、各小中学校・家庭へ提供している。ホームページが開設されて四年目になるが、それぞれの学校の特色が表れるようになってきている。

○各小中学校のホームページ  
各小中学校のホームページは、「OKリンク」から見ることができる。OKリンクのアドレスは「www.oklab.ed.jp」で、「学校HP」か「小中学校ホームページ」をクリックすれば、各学校のホームページ一覧が表示される。



○ホームページ毎日更新

学校によっては、毎日の出来事を工夫して、ホームページに掲載している。学校の雰囲気がよく分かり、子供たちや保護者に好評である。

学校行事や学年行事も多くの学校が掲載している。子供の活動の様子が詳しく載っており、学校の特色がよく表れている。行事の様子を動画で

載せている学校もある。

週末になると、家族そろって見ていたり、地域の方が興味を持って見ていたりしているという。

○地域に根ざした特色ある活動

地域に密着した特色ある活動を紹介している学校もある。例えば、学校林やササユリなどの保護活動、各種ボランティア活動などである。これも、保護者や地域の方には大変評判が良い。

このように学校ホームページは、情報発信の手段として重要な役割を担っているのだからに充実していきたい。



● 県外研修報告

六ツ美西部小 荻原 正直

現在、個の学びが重視され、少人数指導が導入されてきている。しかし、まだまだ多くの教科では一斉授業を行っているのも事実である。そこで、「集団で学ぶことの大切さ」について研究している筑波大学附属小学校の研究会に参加した。

一 共生・共創の学び

附属小学校では、「子どもの豊かさに培う共生・共創の学び」を研究のテーマに掲げている。

「共生」とは、より質の高い集団を目指し、異なる性格や能力を持つ者同士が、それぞれの個性を受容できる状況にあることである。

「共創」とは、共に学ぶ者同士が共に新しいものをつくる時、互いに協力し、葛藤を乗り越えてはじめて目標とするものが成就する状況にあることである。

二 授業の実態

五年理科「おもりのはたらかし」の授業を参観した。振り

子の周期を決定付ける要因について探る授業であった。

(1) 個の意見

「共生・共創の学び」といっても、いきなりみんなで考えましようというのではない。

まず、自分の考えをしっかりと持つことが大切である。

(2) 意見の共有化

個の意見をグループで出し合い、お互いの考えや立場を理解した後、グループごとに実験を行っていく。その際、

- ①各自が自分の考えをまとめる時間の確保
- ②コミュニケーションを促進するメモ用紙の準備
- ③話し合いの前提となる既習知識の確認
- ④話し合い活動のきまりの確認、などの手だてが行われていた。

理科の学習指導要領には、「見通しをもって観察、実験などを行い」とある。意見を共有化することで、目標も共有することができ、見通しをもつ実験が行われていた。そこには、個の学習ではできない、一斉学習だからこそできるよさがあった。

●表 彰

- ◆第四十七回中部日本吹奏楽コンクール県大会 中学校大編成 優秀賞 竜海中学校(県代表)
- ◆平成十六年度愛知県吹奏楽コンクール中学校A編成の部 金賞 矢作中学校(県代表) 竜海中学校(県代表)
- ◆第七十一回NHK全国学校音楽コンクール(地区大会) 金賞 矢作南小学校、六ツ美北中学校
- ◆第九回愛知県ユース(U15)サッカー選手権大会 優勝 竜南中学校
- ◆第五十回全日本中学校通信陸上競技愛知県大会 一五〇〇M 二位 市川宗一郎(竜南中) 走高跳 二位 清水 貴弘(城北中) 一五〇〇M 優勝 武田知江美(六美中) 砲丸投 優勝 高橋 裕美(六美中)
- ◆第二十六回東海ブロック小学生バレーボール大会 男子優勝 竜美丘小学校 女子二位 上地小学校
- ◆とびうお杯第十九回全国少年少女水泳競技大会 一〇〇M背泳ぎ 一位 石井一氣(矢北中)
- ◆JOCジュニアオリンピックカップ 平成十六年度全国中学生力ヌー大会 C-1男子優勝 水越純介(新香山中)

◆第二十三回全日本ジュニアバドミントン選手権大会 愛知県大会 優勝 西村美穂(城北中)

●海外姉妹都市交流事業

岡崎市では、中学生(姉妹都市・友好都市)交流事業として親善訪問団を派遣している。本年度の派遣は、次のとおりである。

○呼と浩特 9/6~9/14

- 〈団長〉 金澤 強 常磐中
- 〈副団長〉 守山 妙子 城南小
- 〈団員〉 高木陽輔(美川)・山中芽衣(南) 野村彩貴(竜海)・澤井俊次(葵) 鈴木綾乃(城北)・吉崎史浩(六ツ美) 伊奈卓真(矢北)・鈴木いつ花(新香山) ○ニューポートビーチ 9/27~10/6

- 〈副団長〉 平野 有行 竜海中
- 〈副団長〉 渥美久美子 羽根小
- 〈団員〉 塚原 慎(福岡)・羽佐田愛(東海) 倉橋 諒(河合)・倉橋 貴実(常磐) 堀川千尋(矢北)

○ウツデバラ 9/29~10/8

- 〈団長〉 鈴木 由郎 市教委
- 〈副団長〉 岡部 敬子 美川中
- 〈団員〉 田畑志穂子(甲山)・山森健成(岩津) 柵木麻理子(矢作)・唐澤 健(竜南) 足立大紀(北)・林 知世(彦美)

●第57回岡崎市中学校市長杯総合体育大会の記録

種 目	性	優 勝	2 位	3 位
陸 上 競 技	男子	甲山	六ツ美	北
	女子	六ツ美	竜南	矢作
バスケットボール	男子	矢作北	竜海	北
	女子	竜海	六ツ美	矢作北
バレーボール	男子	北	矢作	額田
	女子	矢作北	北	六ツ美
ソフトテニス	男子	城北	北	東海
	女子	城北	幸田	北
卓 球	男子	額田	幸田	北部
	女子	額田	幸田	六ツ美
体 操	男子	矢作北	南	東海
	女子	矢作北	東海	竜海
新 体 操	男子	六ツ美	北	南
	女子	幸田	南部	矢作
剣 道	男子	六ツ美	北	幸田
	女子	幸田	南部	東海
ハンドボール	男子	美川	竜南	六ツ美
	女子	竜南	六ツ美	北
軟 式 野 球	男子	矢作	東海	六ツ美
	女子	幸田	葵	南
柔 道	男子	六ツ美	北	甲山
	女子	甲山	矢作	矢作北
サ ッ カ ー	男子	北	竜海	南
	女子	矢作北	竜海	東海
水 泳	男子	甲山	城北	矢作
	女子	額田A	幸田	北部A
弓 道	男子	額田A	幸田	北部A
	女子	額田C	額田B	



▲ 市長とともに 一三都市親善訪問使節団合同結団式

●平成16年度岡崎市小学校体育大会の記録

種 目	性	優 勝	2 位	3 位
ソフトボール	男子	羽根	井田	上大門
	女子	矢作東	梅園	矢作南
バレーボール	男子	竜美丘	矢作南	上地
	女子	上地	男川	北野
バスケットボール	男子	大樹寺	矢作北	梅園
	女子	六ツ美	六ツ美	北部
サッカー	男子	井田	大樹寺	根石
	女子	矢作北	矢作東	矢作西
水泳競技	北ブロック	男子	矢作東	矢作南
		女子	矢作東	矢作南
	南ブロック	男子	三島	福岡
		女子	三島	福岡

●第57回岡崎市中学校市長杯総合体育大会総合成績

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位
男 子	北	竜海	六ツ美	甲山	矢作北	矢作
女 子	矢作北	甲山	竜海	矢作	北	東海
男女総合	竜海	矢作北	甲山	北	矢作	六ツ美



▲ 平成16年度岡崎市小学校体育大会・水泳競技

・カ  
ツ  
ト  
六ッ美中  
長坂博子

## 夢のパラダイス (昭和40年)

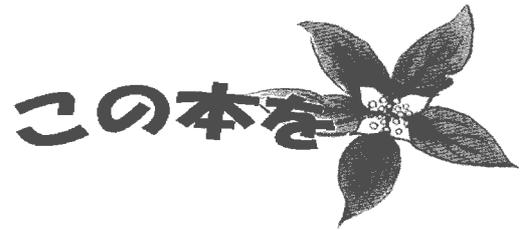
写真提供：愛宕小学校

愛宕小学校の東側斜面に職員の手による「夢のパラダイス」が完成した。全長三十メートルの滑り台、落差十五メートルの水力発電所、直径三メートルの水車の回る流水実験場、魚や水生植物が棲む池などがあり、楽しく遊びながら理科の学習が進められる。愛宕小は、この年ソニー理科教育振興資金優秀校に、さらに二年後には最優秀校に選ばれた。

昭和三十〜四十年代に岡崎市の理科教育は著しい発展を見せ、現在に引き継がれている。



# フォトヒストリー 岡崎の教育



## この本を

### \*あたりまえだけどとても大切なこと

- |           |          |       |
|-----------|----------|-------|
|           | ロン・クラーク  |       |
| 草思社       |          | ¥1400 |
| *運のつき     | 養老 孟司    |       |
| マガジンハウス   |          | ¥1000 |
| *なせば成る    | 中田 宏     |       |
| 講談社       |          | ¥1400 |
| *寄り道して考える | 養老孟司・森 毅 |       |
| PHP文庫     |          | ¥580  |

### \*元 氣

五木 寛之  
幻冬舎 ¥1500

企業モラルや家庭・地域教育力の低下、犯罪の低年齢化など、社会全体がさまざまな問題を抱えている。この現状を打破するためには、今、大人が元気を取り戻さなくてはならない。

元気に生きることは、だれもが望むところである。著者のいう「元気」は私たちが考えるものとは多少ニュアンスが異なる。著者は「天地万物を生み出し、それを生かしているエネルギーの根元」と説く。一人一人の個人が元気を取り戻すために、ぜひ一読したい書である。

思い出いつぱいの夏休みが終わり、二期が始まった。真っ黒に日焼けし、元気に登校する子供たちの姿は、体も一回り大きたくましく見える。子供たちが新しい気持ちで二期のスタートを切れるよう、私たち教師も、新しい目を持って、子供たちのよいところを探そう。

白菊が、つぼみを付け始めた。九月の秋風にはっと胸をなで下ろし、暑かった今年の夏を振り返る。

今年は猛暑の影響から、米や野菜など、食物の収穫はいいそうだ。夜空を照らす十五夜の月も、きつと喜んでいいるのではないだろうか。

## シオ スア

アテネオリンピックと記録的な猛暑が追い風となり、家電業界では、売り上げが飛躍的に伸びたという。

この夏、各種販売店や飲食店で、社会体験型教員研修が行われた。異職種から学ぶことは多い。研修成果が、学校現場に還元されることが期待される。

スーパーやコンビニから出される残飯は、年間七百万トンになるそうだ。これは、世界の食糧援助総量の七十%になるという。過食・飽食の日本。一方で世界には飢餓に苦しむ人々が大勢いる。給食指導を通して、食物への感謝の心を育てることが大切だと思ふ。